

西脇市役所地球温暖化対策実行計画（第4期） 平成30年度の取組結果の概要

1 西脇市役所地球温暖化対策実行計画（第4期）の概要

- (1) 計画期間
平成29年度から令和3年度（5年間）
- (2) 温室効果ガス総排出量削減目標
令和3年度までに基準年度（平成27年度）から10.0%削減
- (3) 重点取組
 - ア 効率的な施設の運営
 - イ 省エネルギーな設備の導入
 - ウ 庁舎・市民交流施設の省エネルギー化
 - エ ごみの減量化、資源化の向上

2 エネルギー使用状況、温室効果ガス排出状況

エネルギー使用状況

項目	単位	平成27年度	平成29年度	平成30年度	
		基準年度	実績	実績	平成27年度比
ガソリン	Kl	34.0	32.0	30.5	△10.2%
灯油	Kl	106.6	114.5	107.5	0.9%
軽油	Kl	11.3	10.4	11.2	△0.8%
A重油	Kl	18.2	18.0	30.6	68.4%
LPG	T	6.0	6.7	6.5	8.6%
都市ガス	千m ³	838.7	985.5	880.7	5.0%
電気使用量	千kWh	17,060.6	16,802.5	15,995.1	△6.2%
公用車走行量	千km	471.9	462.2	461.5	△2.2%
カーエアコン	台	80.0	76.0	79.0	△1.3%
笑気ガス	kg	34.0	4.0	3.0	△91.2%

温室効果ガス排出状況（単位：t-CO₂）

項目	平成27年度	平成29年度	平成30年度	
	基準年度	実績	実績	平成27年度比
ガソリン	78.9	74.2	70.8	△10.2%
灯油	265.4	285.1	267.8	0.9%
軽油	29.1	26.7	28.8	△0.8%
A重油	49.2	48.8	82.8	68.4%
LPG	17.9	20.0	19.4	8.6%
都市ガス	1,870.3	2,197.6	1,964.0	5.0%
電気使用量	8,831.1	8,650.4	8,247.8	△6.6%
公用車走行量	3.54	3.43	3.36	△5.1%
カーエアコン	1.14	1.09	1.13	△1.3%
笑気ガス	10.1	1.2	0.89	△91.2%
合計	11,156.7	11,308.5	10,686.9	△4.2%

※取組効果を正当に評価するため、基準年度の排出係数を固定して CO2排出量の算定を行っています。

※最新の排出係数による温室効果ガス排出量：9,358.6t-CO2（基準年度比16.1%減）

※数値は四捨五入しているため、合わない場合があります。

【結果】

- (1) 平成30年度温室効果ガス排出量は、平成27年度と比較し 4.2%減少しました。
- (2) 温室効果ガス排出量の増減の主な理由は、次のとおりです。

【温室効果ガス排出量の増減の主な理由】

燃料等	主な理由（増加）	主な理由（減少）
ガソリン		・全庁的にガソリン使用量が減っている。走行距離が全体的に減っているので比例してガソリン使用量も減
A重油	・病院の非常用発電機の燃料（40kL）として保管している燃料の買換えのため、空調機、ボイラに使用	

3 主な取組

(1) 重点取組

- ア 効率的な施設の運営
 - 小苗環境センターの廃止が未達成（廃止時期が平成30年度から令和元年度にずれ込んだため）
- イ 省エネルギーな設備の導入
 - 省エネPCに更新（65台）
 - 黒田庄体育センターの照明を LED化
 - 総合市民センターロビーの照明を LED化
 - 西脇小学校の照明を LED化
 - 西脇小学校へ断熱材を導入
- ウ ごみの減量化、資源化の向上
 - 全職員に講習会を実施

(2) その他の取組

- ア 節電対策の徹底
 - (ア) 公共施設における不使用場所の消灯（昼休み時、トイレ等）
 - (イ) 廊下及び窓際照明の間引き・消灯
 - (ウ) 空調使用の抑制
 - a 稼働時間の短縮
 - b 設定温度の徹底（冷房時28度、暖房時19度）
 - (エ) 定時退庁の推進（水曜日）
 - (オ) パソコン、コピー機器等の節電モードの設定 ほか
- イ 緑のカーテン大作戦の実施（公共施設15施設）
- ウ 職員全員が環境行動評価シートで自身の環境行動をチェック
- エ 各課・施設における活動量（温室効果ガス総排出量）の取りまとめ